
北海道浮魚ニュース

平成 14(2002)年度 18号 (通巻 No.138)

2002年 9月 13日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

オホーツク海サンマ漁期前調査結果

サンマ魚群わずか 表面水温は15 前後

9月9日～12日に稚内水産試験場試験調査船北洋丸でオホーツク海(雄武～ウトロ沖)のサンマ漁期前調査を実施しました。結果概要は以下のとおりです。

1 表面水温 - サンマ適水温域が広がっている

海洋観測点での表面水温は13.6～18.8。もっとも岸よりの観測点は、17～18 台で宗谷暖流の中にありました。その沖合は、15 前後で、この時期のサンマの分布には適した水温域が広がっていました(図1)。

2 探索・目視 - ハネなし、魚群わずか

夜間、航行しながらの探照灯による魚群探索調査では、サンマのハネは、ほとんどありませんでした。

また、停船して目視した観測点の半数でサンマは皆無、わずかにサロマ湖沖の1点(図2)で数十尾の群れを確認しましたが、そのほかの観測点では群れをなさない数尾のサンマしか認められませんでした。

3 漁獲調査 - ジャミ・小型主体

サンマが目視された6点(図2)で、たも網による採集をしたところ、肉体長10cm前後の稚魚と17-25cmのジャミ・小型主体のサンマが採集されました。

なお、まとまった群れが認められなかったため、流し網は行いませんでした。

スルメイカは、ウトロ沖の観測点で小型、数尾が目視されたほかは、皆無でした。

9月下旬に、今期の「オホーツク海サンマ漁況見通し」をお知らせする予定です。

(文責：網走水産試験場資源管理部、TEL:0152-43-4592、FAX:0152-43-4593)

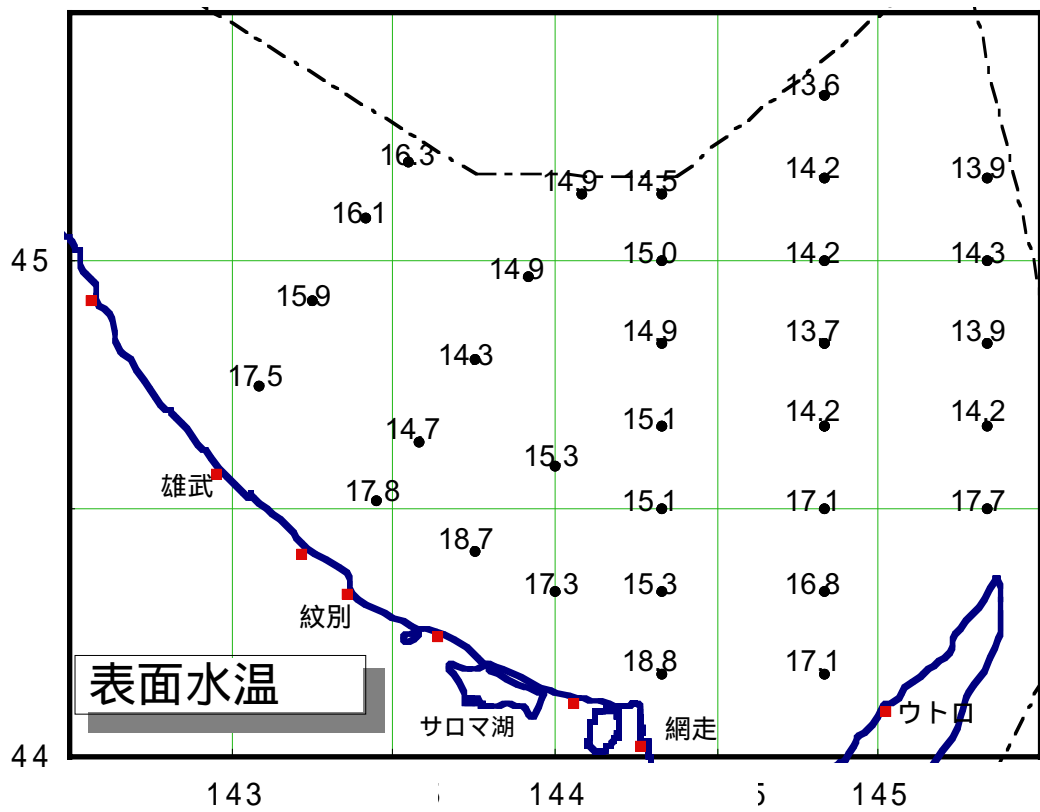


図1 表面水温 2002年9月9日～11日

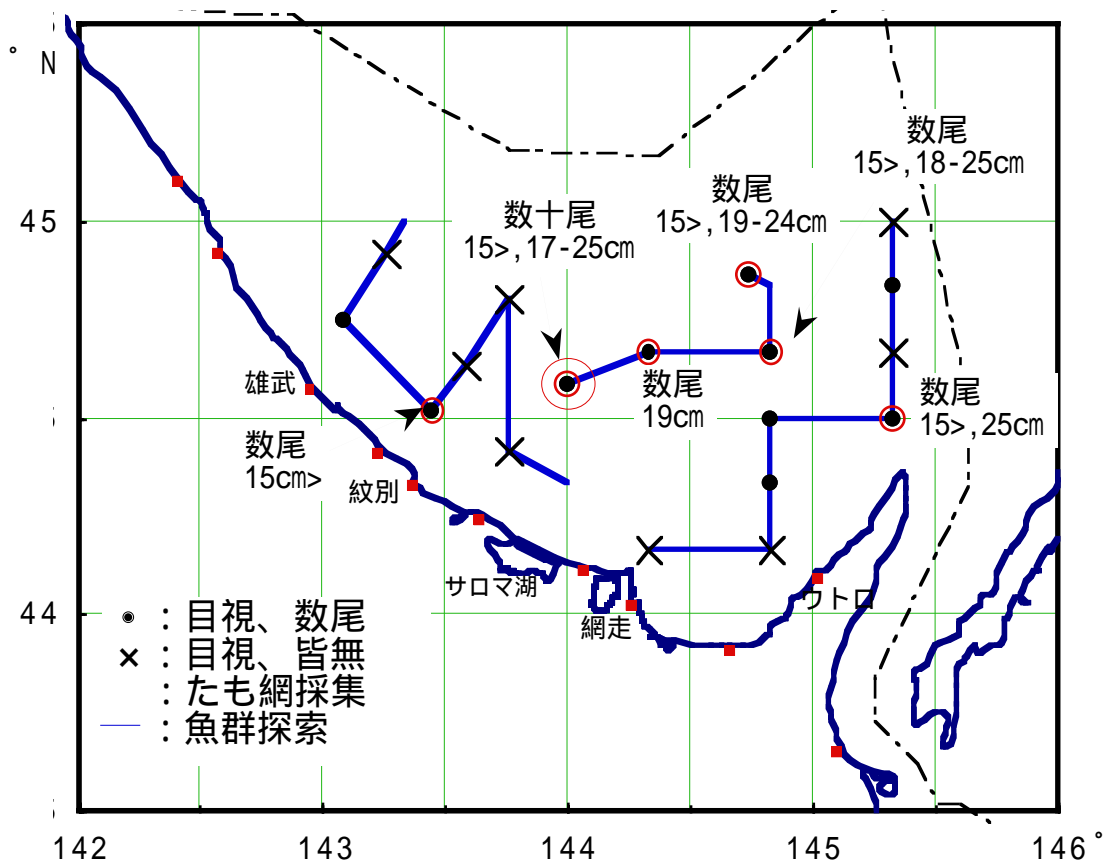


図2 魚群探索・目視・漁獲調査結果
数字は採集されたサンマの体長範囲